

平成 25・26 年度 土木学会複合構造委員会 第 5 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 26 年 1 月 28 日(火) 14:00～17:45
2. 場 所：土木学会 B 会議室
3. 出席者：島委員長，奥井副委員長，池田幹事長，大久保幹事，大山幹事，葛西幹事，滝本幹事，西崎幹事，広瀬幹事，古市幹事，牧幹事，溝江幹事，渡辺幹事，久米村事務局員（欠席者：斉藤幹事，下村幹事，松本幹事）

4. 配布資料

- 資料 幹5-0 第5回 複合構造委員会幹事会 議事次第
- 資料 幹5-1 第4回 複合構造委員会幹事会 議事録(案)
- 資料 幹5-2 第2回 複合構造委員会議事録(案)
- 資料 幹5-3-1 土木学会論文集A1特集号：複合構造準備状況
- 資料 幹5-3-2 論文集編集小委員会 収支決算書
- 資料 幹5-3-3 巻頭言 (参考例)
- 資料 幹5-4-1 合成床版の設計施工指針契約書(案)
- 資料 幹5-4-2 合成床版の設計施工指針・委託研究計画書(案)
- 資料 幹5-4-3 合成床版受託研究メンバー(案)
- 資料 幹5-5 土木学会賞(功績賞)候補の推薦書
- 資料 幹5-6 「FRP水門設計・施工指針(案)」講習会
- 資料 幹5-7 出版関係 (出版図書の販売状況と平成25・26年度出版計画)
- 資料 幹5-8-1 小委員会一覧
- 資料 幹5-8-2 H101 示方書委員会
- 資料 幹5-8-4 H206 ずれ止め小委員会
- 資料 幹5-8-5 H208 FRP複合構造研究小委員会
- 資料 幹5-9 平成25年度 予算執行状況
- 資料 幹5-10-1 平成26年度 重点研究課題
- 資料 幹5-10-2 平成26年度 重点研究課題(構造工学委員会から)
- 資料 幹5-11 平成26年度 研究討論会
- 資料 幹5-12 第5回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム
- 資料 幹5-13 JSCE2015(仮称)策定協力への対応
- 資料 幹5-14 平成26年度 ジョイントセミナーテーマ募集のご案内
- 資料 幹5-15-1 複合構造委員会研究小委員会の見直しについて
- 資料 幹5-15-2 第二種研究小委員会の成果公表の方法の見直し
- 資料 幹5-16 新設小委員会案
- 資料 幹5-17 次回幹事会

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

島委員長より，挨拶がなされた。

(2) 第4回 幹事会議事録(案)の確認 (資料 幹5-1)

池田幹事長より、第4回幹事会の議事録(案)の確認がなされ、出席者に牧幹事を追加することで、承認された。

(3) 第2回 複合構造委員会議事録(案)の読み上げ (資料 幹5-2)

葛西幹事より、第2回 複合構造委員会の議事録(案)が読み上げられ、以下6点を修正することになった。

① (3) 第1回 議事録案の確認 (委2-2)

～平成25年6月20日に開催~~指~~された～ → ～平成25年6月20日に開催された～

② (5) 受託研究の受入れおよび研究小委員会の設置 (委 2-4-1, 委 2-4-2)

【議論概要】

・ 1/15 理事会の承認を経て、～ → 11/15 理事会の承認を経て、

③ (17) 小委員会活動報告 (委2-17-1～委2-17-7)

(H180) FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会

西崎幹事~~長~~(小委連絡幹事)より報告があった。11/29 に第 8 回 WG を開催。12/18 に原稿が完成。2/19 に発刊・講習会を予定。参考資料として性能照査型設計法について記述がある。資料 ~~86 ページには実際はページ番号が入った資料であった。150~~ ページ程度のボリューム。

↓

西崎幹事(小委連絡幹事)より報告があった。11/29 に第 8 回 WG を開催。12/18 に原稿が完成。2/19 に発刊・講習会を予定。参考資料として性能照査型設計法について記述がある。220 ページ程度のボリューム。

④ (H209) FRPによるコンクリート構造の補強設計小委員会

～より報告があった。IALLCE～ → ～より報告があった。IALCCE～

⑤ (H105) 300 年プロジェクト小委員会

(質問) ダメだったと評価された理由は？

↓

(質問) 再度、重点研究課題に応募して、ダメだったと評価された理由は？

⑥ (回答) 10 年前まではやられていった。100 年程度続いていた。ブリケットは残っていて、これからも保管していく方向。

↓

(回答) ブリケットの保管状態に問題があったため、100 年程度続いていたが、10 年前からやられていない。ブリケットは、これからも保管していく方向である。

(4) 論文集特集号 (資料 幹5-3-1～幹5-3-3)

葛西幹事より、論文集特集号の準備状況(スケジュール、招待論文、小委員会からの論文報告、一般論文、今後の対応状況ならびに小委員会収支報告)について報告がなされた。

その後、以下の2点に関して、審議が行われた。

・ 土木学会論文集の通常号は、校正会社を通じて、最終的にJ-Stageに掲載する論文の作成を行って

いる。当初は、編集小委員会の幹事が校正作業を行う予定であったが、小委員会の予算に余裕があるため、校正会社に作業を依頼したい。

→今年度だけでなく、来年度以降もJ-Stageに掲載する最終的な作業は、校正会社に依頼することで承認された(編集小委員会の予算、その旨を考慮して設定する必要がある)。

・巻頭言の執筆は？

→島委員長と杉浦小委員長の連名で執筆することになった。

(5) 合成床版の設計・施工マニュアルに関する受託研究小委員会の設置 (資料 幹5-4-1～幹5-4-3)

大久保幹事より、現在、橋建側で委託研究契約書の最終確認中であること、来週(2月7日(金))、4月からの小委員会の活動開始に向けて、事前の打ち合わせ会を開催するなどの報告がなされた。

その後、以下の意見や要望、質疑応答がなされた。

- ・ 委託研究計画書の研究目的に 設計は、許容応力度設計法のみではなく、限界状態設計法も適用すると明確に表記して欲しいとの要望が出された。
- ・ 研究方法は、土木学会、日本橋梁建設協会の共同研究ではなく、土木学会は、日本橋梁建設協会からの研究を受託して実施するに修正する。
- ・ 合成床版の押抜きせん断強度式は、どのような式を用いるのか？という質問に対して、一部の合成床版を対象に提案された押抜きせん断強度式や鋼構造シリーズ 9 PART-B 鋼構造物設計指針(合成構造物)に記載されている式を参考にするとの回答がなされた。
- ・ 合成床版は、鋼に対する疲労は、あまり問題にならず、材料の劣化(塩害、凍害)による耐力低下が懸念されるのではないかとコメントがなされた。

(6) 土木学会賞(功績賞)候補の推薦 (資料 幹5-5)

池田幹事より、土木学会賞(功績賞)として、三浦 尚 東北大学名誉教授を推薦したとの報告がなされた。

(7) 「FRP水門設計・施工指針(案)」講習会 (資料 幹5-6)

西崎幹事より、2月19日(水)に「FRP水門設計・施工指針(案)」の講習会を開催する、書籍の価格は3,800円+税になったとの報告がなされた。

(8) 出版関係 (資料 幹5-7)

大久保幹事より、2013年10月以降の出版状況について、「複合構造レポート07：複合構造物を対象とした防水・排水技術の現状」および「複合構造レポート08：巨大地震に対する複合構造物の課題と可能性」の通算売上部数が、原価回収部数を上回ったなどの報告がなされた。なお、前述の2つのレポートが、複合構造委員会の委員に進呈されていないのではとの質問がなされ、事務局で確認の後、対応することになった。あと、次回の出版委員会は、2月25日(火)に開催されるので、H208とH209の出版企画書を、その1週間前までに提出して頂きたい旨の依頼がなされた。

(9) 小委員会報告審議事項 (資料 幹5-8-1)

H101 複合構造標準示方書小委員会 (資料 幹5-8-2)

渡辺幹事より、2014年3月に各編の原案が出来上がり、4月に開催する第6回小委員会で審議する予定であるとの報告がなされた。

H206 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (資料 幹5-8-4)

渡辺幹事より、報告書の原案を1月31日(金)の小委員会で審議し、今後のスケジュールなどを決定

した後、幹事に図るとの報告がなされた。

H208 FRP複合構造研究小委員会 (資料 幹5-8-5)

西崎幹事より、H206と同様、報告書の原稿を1月31日(金)の小委員会で審議する。あと、3月と5月に小委員会を開催し、報告書を完成させるとの報告がなされた。講習会の開催月は、「第5回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム」の開催月(2014年11月)を勘案して決定することである。

H209 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会

西崎幹事より、報告書の原稿を、1月30日(木)の小委員会で審議する予定である。講習会は、H208と同時開催を考えているなどの報告がなされた。

H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事より、活動を開始して1年が経過したため、小委員会のとりまとめる内容の検討を始めたとの報告がなされた。

H208とH209小委員会の講習会開催月は、両小委員会とシンポジウム小委員会にて審議した後、決定することになった。

(10) 平成25年度 予算執行状況 (資料 幹5-9)

池田幹事長より、平成25年度の予算執行状況の報告がなされた。報告後、予算の見直し案が提示され、各小委員会で検討を行い、報告して頂きたい旨の依頼が出された。

(11) 重点研究課題 (資料 幹5-10-1～幹5-10-2)

大山幹事より、重点研究課題(案)、池田幹事長より、構造工学委員会より打診があった「橋梁の点検力向上に関する調査研究」について説明がなされた。

その結果、重点研究課題に求められる要件が、将来起こり得る問題の解決に向けた具体的・実用的な研究課題であるため、“更新”というテーマで、渡辺幹事が、研究目的および研究計画説明書(委員長：島委員長、幹事長：葛西幹事)を作成することになった。作成後、構造工学委員会、鋼構造委員会ならびにコンクリート委員会に、参画して頂きたい旨の打診を行うことになった。さらに、“更新”がテーマなので、建設技術研究委員会にも参画して頂くのが良いのではないかと意見が出された。

なお、構造工学委員会から問い合わせがあったテーマに対しては、池田幹事長より、参画する旨の報告を行うことになった。

(12) 平成26年度 土木学会全国大会 研究討論会 (資料 幹5-11)

池田幹事長より、平成26年度 土木学会全国大会 研究討論会のテーマ(案)について説明がなされ、後日、メールにて意見を頂くことになった。

(13) 「第5回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム」(資料 幹5-12)

溝江幹事より、土木学会誌3月号に掲載される「第5回 FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム」の講演原稿募集について説明がなされた。あと、今回から概要集が冊子からCD-ROMになる、特別企画(現場見学、パネルディスカッション、ポスター展示など)は、3月末までに案を出すなどの報告がなされた。

(14) JSCE2015(仮称)策定協力依頼 (資料 幹5-13-1～幹5-13-4)

池田幹事長より、JSCE2015(仮称)策定について説明がなされ、後日、メールにて意見を頂くことに

なった.

(15) ジョイントセミナー (資料 幹5-14)

池田幹事長より, 平成26年度 ジョイントセミナー実施テーマの募集について説明がなされた.

(16) 小委員会設置の基本方針 (資料 幹5-15-1~幹5-15-2)

渡辺幹事より, ①今後の示方書へ直結する研究は, 示方書小委員会または第1種小委員会が担当, ②社会的ニーズやトレンドを創出する課題に対する研究は, 公募委員会(第2種小委員会)でも担当できるなど, 研究小委員会の見直しについて説明がなされた.

これは, 土木学会内に複合構造委員会が設立された当時, 委員会の知名度を確立するために, 各小委員会には, 書籍の出版や講習会を開催することを義務付けてきた. しかし, このことが, 小委員会の活動ハードルを高くしている感がある. 委員会設立10年が経過して, 小委員会の活動の活性化を図るために, 現小委員会の整理・見直しや新設小委員会は, まず, 上述の2つに振り分けて活動を開始するということである. 本内容は, 引き続き, 審議を行うことになった.

(17) 新設小委員会(案)について (資料 幹5-16)

池田幹事長より, 旧H105 300年プロジェクト小委員会の継続, 防水・排水関係の研究小委員会の2期目など, 新設小委員会(案)について説明がなされた. 300年プロジェクト小委員会の今後については, 古市旧105小委員会幹事長と企画WGで検討を行うことになった.

(18) 次回幹事会 (資料 幹5-17)

池田幹事長より, 次回幹事会(3月14日(金)~15日(土))のスケジュールなどについて, 説明がなされた.

(19) その他

特になし

以 上
(記録・文責: 大山 理)